



## お誕生おめでとう

(11月30日までの届出分・敬称略)

住 所	保 護 者	性 別	出生児
神領2135	吉園 一博	女	みく 美紅
旭ヶ丘	竹井 正弘	男	るな 瑞直
仮宿1772-8	谷 将之	女	あいみ 碧海
菱田1671-1	宇都宮 透	女	りこ 理子
永吉1187-1	安田 弘毅	男	こうし 純志
仮宿349	江藤 義也	男	りち 理知

## ごめい福をお祈りします

香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りします。

(11月30日までの届出分・敬称略)

西井俣	大野 勇 (亡母) ノブ	88歳
正坂	吉田フク子 (亡母) 平田ミナ子	66歳
中谷	倉富ノリエ (亡夫) 光男	77歳
平 良	山野 徹 (亡母) アヤ	77歳
栗之峰	下村 学 (亡母) 鈴子	76歳
小 能	西高 優 (亡母) ハツヨ	93歳
新調堀	竹井 剛 (亡母) 妙	85歳
下水之谷	吉元 繁利 (亡父) 繁	85歳
池段	小野 治雄 (亡母) ツリ	93歳
西持留	篠田 アヤ (亡夫) 政行	82歳
下持留	吉岡 ミヤ (亡夫) 次男	82歳
木入道	鎌田 和幸 (義父) 佐多一男	62歳
中谷迫	前迫 和子 (亡夫) 道幸	53歳

## 大崎文芸

薩摩郷句 三條風雲児 選

兼題『半端』

よく親父とおしゃべりで寝つ  
（唱）飲んせかすれば管を巻つ癖  
（唱）わが家ん子供じやねどかい心配

酔れ親父小言ちや半端でほたい寝つ  
（唱）飯しや半端で走い出つ

（唱）北村虎王

（唱）西ノ園ひらり  
（唱）浜口あぐり  
（唱）語い好つ布令は半端で腰しゆ据えつ  
（唱）見榮張いが造作半端で行つ詰まつ  
（唱）常住んこつじやち近所から苦情  
（唱）支払が悪りで来ちやくれん大工。

ふる里の空に沁み入る木守柿

酒蔵は残りて久し地虫鳴く

くつわ虫襖の隅のわが世かな

中禅寺湖墨絵ばかりの暮の秋

復元の縄文の森木の葉散る

桑原 正樹

内田ちどり

山下 初枝

新小倉ハツ子

中崎はなえ

大崎俳句会

妻に供ふ福祉べんとう栗ごはん

溝口 稔

新小倉ハツ子

中崎はなえ